

ワークショップ + シンポジウム

現代「中国」の社会変容と 東アジアの新環境

とき:2005年11月5日(土曜日)、午後13:00-18:00

ところ:千里中央 ライフサイエンスセンター9階901会議室

変容しつつある現代「中国」の実態とそのイメージを
東アジア(東北アジア+東南アジア)の新環境との関連において
多角的に検討することにより、日本は「中国」とどう向きあうべきか
についていくつかの有効な処方提示する。

第1部 ワークショップ:(13:00~)

多様化するチャイニーズ・アイデンティティー —— 周縁からの視点

マージナルなチャイニーズのハイブリディティ(文化的混血性)——東南アジア出身の中国系留学生や若い世代の中国帰国者を囲んで

冷戦構造の崩壊に伴うアメリカをその中心とする巨大な文化システムの顕在化は、世界的な労働力や金融、情報の流動化を加速させ、アイデンティティの多元化、断片化を促した。同時に、東・東南アジアにおいては、中国をその中心とする新たな周縁の創造を観察することができる。こうした文化システムの交錯のなかに現れるマージナルなチャイニーズの主観性に触れようとする。そうすることで、二者関係的な「中国観」から脱却し、複眼的に「中国文化」をとらえる視点を共有したい。

第2部 シンポジウム:(14:00~) 研究者の報告 + ティスカ・サントのコメント + 討論(日本語(通訳つき))

20世紀の経験と21世紀への提言 —— 日本は「中国」とどう向き合うべきか

- ・ 江 沛 「近代中国交通システムの初歩的形成と華北における都市構造の新たな展開:
1881-1937」 (中国語・中国南開大学歴史学院教授(中国近代史))
- ・ 馬 曉華 「米中関係の現状と展望」 (日本語・大阪教育大学助教授(米中外交関係史))
- ・ 紀 宝坤 「中国の台頭と日中関係:ホットな経済・冷えきった政治・アンビバレントな文化」
(英語・立命館アジア太平洋大学教授(華僑社会学))

■ 開催: 大阪外国語大学研究プロジェクト(特別研究2):「現代中国」の社会変容と東アジアの新環境

■ 共催: 中国現代史研究会

■ 問い合わせ先: 田中仁研究室(tanakahi@osaka-gaidai.ac.jp)

本シンポジウムについての詳細は、<http://homewww.osaka-gaidai.ac.jp/~c-forum/symposium.htm> をご覧ください。

各報告のプレペーパーを事前に上記のWebページで公開する予定です。

※学部生・大学院生の参加を歓迎します(専攻・専攻語にかかわらず)。